

下線付き講演番号：審査対象

開始時刻	A会場
	<b>小中高生 ポスター発表 フラッシュトーク</b>
13:30	<p>P-01 <b>土壌水分を利用した乾燥地の塩害抑制研究</b> *中居泉穂・寺沢ゆき(青森県立名久井農業高校)</p> <p>P-02 <b>パーミキュライトを用いた水質浄化研究</b> *寺沢ゆき・大坊拓也・掛端博貴・佐々木昌虎・中居泉穂・新田遥加(青森県立名久井農業高校)</p> <p>P-03 <b>雨水と三和土を用いた洗浄法の研究</b> *新田遥加・佐々木昌虎(青森県立名久井農業高校)</p> <p>P-04 <b>近年琵琶湖での存在が確認されたMicrasterias hardyiの培養調査</b> *川井彩音(滋賀県立石山高校)</p> <p>P-05 <b>ミジンコの生態と琵琶湖における深度別調査</b> *森本莉久(京都府立洛北高校附属中学校)</p>
13:40	<p>P-06 <b>Distribution and Color of Microplastics in Lake Biwa</b> *君付菜優(立命館守山高校)</p> <p>P-07 <b>なぜ、オオサカサナエはびわ湖の白ひげ浜に生まれるのか？ 2012～2021年 ～特殊な環境に適応した特殊な絶滅危惧種トンボ～</b> *白神大輝(西大和学園高校)</p> <p>P-08 <b>琵琶湖の環境変動と連動したピワオオウズムシの消長(1)湖底モニタリングの最新成果</b> *佐藤瑠乃(滋賀県立膳所高校)・佐藤爽音(鋼鉄美術工芸高校)・熊谷道夫(立命館大学)</p>
	<b>一般 ポスター発表 フラッシュトーク 1</b>
13:50	<p>P-09 <b>気象観測値によるダム湖の冬季全循環発生確率の推定</b> *片寄涼介(農工大・農)・角谷拓(国環研)・高津文人(国環研)・松崎慎一郎(国環研)・赤坂宗光(農工大・農)</p> <p>P-10 <b>2020年7月に出現した静岡県水窪町「幻の池」の水位記録と湖盆形態</b> *河野忠(立正大学)・町田由香矢・船生泰寛(立正大学大学院修了)</p> <p>P-11 <b>土岐砂礫層を有する森林斜面における地表流発生メカニズム</b> *木下大輔・上野薫(中部大)・吉迫宏(農学)</p> <p>P-12 <b>堆積速度と災害・改修履歴からみた掛兼川水系津屋川における近年の土砂動態</b> 田代喬(名古屋大)・陀安一郎(地球研)</p> <p>P-13 <b>石狩川における溶存有機窒素の動態</b> 高木悠司(北大)・服部圭佑(北大)・山下洋平(北大)</p>
14:00	<p>P-14 <b>Determination of TP forms in soil/sediments via applying HCl extraction and HF methods</b> *Kozyrev Roman, Yoh Muneoki(東京農工大)</p> <p>P-15 <b>Multi-Shot Pyrolyzer GC/MSを用いた琵琶湖由来フルボ酸の化学特性解析</b> *百合藤桃加(京都工芸繊維大学)・山口保彦・早川和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・木田森丸(神戸大学)・藤嶽暢英(神戸大学)・布施泰朗(京都工芸繊維大学)</p> <p>P-16 <b>琵琶湖北湖深層における底層DOの特異的な低下と底層水質の変動～2020年の調査結果から～</b> *岡本高弘・藤原直樹・中村光穂・石崎陽平・卯田隆・佐藤祐一・古角恵美・小立原翔(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・藤原務(滋賀県琵琶湖保全再生課)</p> <p>P-17 <b>富栄養化した干潟におけるNH<sub>2</sub>OHの季節変化</b> 名取安海・小林諒磨・松原優士(東邦大学)・清家泰・菅原庄(島根大学)・千賀有希子(東邦大学)</p> <p>P-18 <b>播磨地域のため池における溶存メタン濃度と水面からの放出速度</b> *河内丈太郎・西藤智哉・伊藤雅之(兵庫県立大)・坂部綾香(京都市大)・尾坂兼一(滋賀県立大)・中馬一憲(兵庫県立大)</p>

開始時刻	A会場
	<b>一般 ポスター発表 フラッシュトーク 2</b>
14:10	<p>P-19 <b>東京都の地下水における高濃度リン酸の要因とメカニズムの解析</b> *碓夷咲(農工大)・楊宗興(農工大)</p> <p>P-20 <b>食虫植物ムジナモの生育環境と生長に与える腐植物質の効果</b> *トウ・シンヨウ(埼玉大学)・藤野毅(埼玉大学)・金子康子(埼玉大学)</p> <p>P-21 <b>ヒメホテイアオイ(<i>Heteranthera reniformis</i> Ruiz et Pavon)の発芽に対する温度と土壌含水率の影響</b> *Thapa Magar Srijana(埼玉大学)・藤野毅(埼玉大学)・庄司邦賢(埼玉大学)・横田拓也(農研機構 農村工学研究所)</p> <p>P-22 <b>北海道に定着したウチダザリガニの水銀蓄積特性</b> *木内拓海(酪農大院)・室田欣弘(UWグリーンレイク洞爺湖)・中谷暢丈(酪農大院)</p> <p>P-23 <b>琵琶湖における動物プランクトンの餌量・質の変化について</b> *永田貴丸・酒井陽一郎・中村光穂・岡本高弘・早川和秀(琵琶湖センター)</p>
14:20	<p>P-24 <b>Trophic status has crucial influence on the relative requirement of nitrogen to phosphorus for phytoplankton growth</b> *Mengqi Jiang (Kyoto-U)・Shin-ichi Nakano (Kyoto-U)</p> <p>P-25 <b>DNAメタバーコーディングとSingle spore PCRによる全国50ダム湖の菌類群集比較</b> *望月学(横浜国立大)・鏡味麻衣子(横浜国立大)・土居秀幸(兵庫県立大)</p> <p>P-26 <b>琵琶湖湖辺における過去の養浜事業が底生動物に及ぼした影響の評価</b> 井上栄壮・古田世子・萩原裕規・大柳まどか(滋賀県琵琶湖研)</p> <p>P-27 <b>浅い湖沼におけるベントスと植物プランクトンの食物連鎖の解明</b> 李若氷(京都市大)・大西雄二(京都市大)・木庭啓介(京都市大)・蔡吉(滋賀県)・中野伸一(京都市大)</p> <p>P-28 <b>Application of a novel cadmium-selective fluorescence probe in in-vivo detection and quantification of cadmium bioaccumulation in the freshwater cladoceran: Moina macrocopa</b> *Thilomi Samarakoon・Takeshi Fujino (Saitama University), Masayori Hagimori (Mukogawa Women's University), Rie Saito (National Institute of Environmental Sciences)</p>
14:30	<p>P-29 <b>羽化殻を利用した琵琶湖北湖における大型トンボ類の分布</b> *奥田達也(滋賀大学大学院)・石川俊之(滋賀大学)</p> <p>P-30 <b>High temperature tolerance of chironomid larvae and its molecular mechanisms</b> Tetty A. Pamela, Fujii Sotaro and Kawaii Koichiro (Hiroshima University)</p> <p>P-31 <b>淡水生ハリガネムシ2種の宿主選択について</b> *谷聖太郎(広大院)・河合幸一郎(広大院)</p> <p>P-32 <b>神戸市内の湿地に生息するイトウソノバトビケラ(トビケラ目)の生活史</b> *渡辺昌造(ひとはく地域研究員)</p> <p>P-33 <b>トビケラ体内へのCs移行に関する濁度の影響について</b> *永岡光介(埼玉大学)・SHRESTHA Ashok Kumar(埼玉大学)・藤野毅(埼玉大学)・野本健志(建設環境研究所)</p>
14:40	<p>P-34 <b>淀川ワンドの二枚貝およびタナゴ類におけるマイクロプラスチックの汚染実態</b> *相子伸之・近藤美麻・今川愛佑美(大阪環状水研)・近藤泰仁・田中周平(京大院・地環)</p>
14:50～16:50	<p><b>ポスター発表 コアタイム(LINC Biz)</b></p> <p>※発表者が、他の発表を少しでも聴講できるよう、下記のように、一部重複する形でコアタイムをずらして設定しています。  <b>奇数講演番号:14:50～16:20</b>  <b>偶数講演番号:15:20～16:50</b></p>

9月21日 (火) 午前

下線付き講演番号：発表審査対象

開始時刻	A会場
	<b>一般講演</b>
9:00	<p><u>Q-A01</u> <b>ミジンコの種内多様性はどのように維持されるのか：異なる日長応答に基づく生活史戦略の違いがもたらす共存</b> *大竹裕里恵（兵庫県立大学、東京大学）、山道真人（クイーンズランド大学）、平田優香（東京大学）、小田切悠（東京大学）、吉田丈人（地球研、東京大学）</p>
9:15	<p><u>Q-A02</u> <b>ダム湖動物プランクトン群集の構造決定機構：全国のダム湖間比較による解析</b> *鈴木 碩通（東北大学・理）・一柳 英隆（水源地環境センター）・占部 城太郎（東北大学・生命）</p>
9:30	<p><u>Q-A03</u> <b>琵琶湖におけるタイヨウテウウの生態</b> *吉田 潤哉（京都大）・中野伸一（京都大）</p>
9:45	<p><u>Q-A04</u> <b>Japanese freshwater zooplankton identification using DNA metabarcoding: from the result of a mock community experiment.</b> *SIQUD Imane（東北大学）、MAKINO Wataru（東北大学）、Urabe Jotaro（東北大学）</p>
10:00	<p><u>Q-A05</u> <b>湖沼生態系における<math>\omega</math>3脂肪酸供給量の評価指標の開発に向けたワカサギ脂肪酸組成の解析</b> *新田 真弓（秋田県大院）・青森 壮汰（秋田県大院）・藤林 恵（九大院・工）・高田 芳博（秋田県・水振セ）・渡邊 美穂（秋田県大・生資）・岡野 邦宏（秋田県大・生資）・宮田 直幸（秋田県大・生資）</p>
10:15	<p><u>Q-A06</u> <b>雪氷環境に適応した雪氷微生物の積雪内における垂直移動の日周期</b> *小野 誠仁（千葉大）・薄羽 珠ノ介（千葉大）・竹内 望（千葉大）</p>
10:30	休憩
10:45	<p><u>Q-A07</u> <b>溪流においてリター破碎への栄養カスケード効果は一般的か？：底生動物捕食者の炭素・窒素安定同位体比から示唆されること</b> *太刀掛 脩平・加賀谷 隆・則定真利子（東京大）</p>
11:00	<p><u>Q-A08</u> <b>モンカゲロウ属の捕食による粒状態有機物の溶存態有機物への変換</b> *岡部 智洋（岡山理科大 大学院）・齋藤 達明（岡山理科大）・杉山裕子（岡山理科大）・笠井 楓也（岡山理科大）、片岡 翔（岡山理科大）、竹中 大二郎（岡山理科大）</p>
11:15	<p><u>Q-A09</u> <b>利根運河における表流水から見た水質形成機構</b> *宮元 拓夢（理科大）・八畝 泰（理科大）・磯野 航也（理科大）・関 陽児（理科大）</p>
11:30	<p><u>Q-A10</u> <b>利根運河における底質の溶出実験</b> *八畝 泰（東理大）・関 陽児（東理大）</p>
11:45	<p><u>Q-A11</u> <b>ワンドにおける高濃度リン酸湧出</b> *上羽涼太郎（農工大）・梅澤有（農工大）・楊宗興（農工大）</p>

開始時刻	B会場
	<b>課題講演：火山山麓河川の陸水環境 (企画：谷口智雅・野崎健太郎)</b>
9:00	<p>O-B01 <b>日本の火山性無機酸性河川研究の概要</b> *野崎健太郎（桐山女学園大）・谷口智雅（三重大）</p>
9:10	<p>O-B02 <b>火山山麓河川の地理的景観と陸水環境</b> *谷口智雅（三重大）</p>
9:25	<p>O-B03 <b>御嶽山麓河川の短期および中期的水質変化について</b> *松本 嘉孝（豊田高専）・宇佐見 亜希子（名大減災）・江端 一徳（豊田高専）</p>
9:40	<p><u>O-B04</u> <b>御嶽山麓における王滝川水系の水質とその経年変化の推定</b> *江端一徳（豊田高専）・松本嘉孝（豊田高専）・宇佐見亜希子（名大減災）</p>
9:55	<p>O-B05 <b>火山性無機酸性湧水における糸状藻<i>Klebsormidium flaccidum</i>の繁茂と溶存無機態炭素濃度との関係</b> *野崎健太郎（桐山女学園大学）・松本嘉孝（豊田高専）・谷口智雅（三重大学）・宇佐見亜希子（名古屋大学）・田代喬（名古屋大学）</p>
10:10	<p>O-B06 <b>ダム・貯水池を有する火山山麓河川の底生動物群集とその時空間的変異</b> *田代 喬（名古屋大）</p>
10:25	<p>O-B07 <b>火山山麓に湧出する二酸化炭素ガスと湧水の影響をうけた河川水の特性</b> *宇佐見亜希子（名古屋大）・田代喬（名古屋大）・松本嘉孝（豊田高専）・江端一徳（豊田高専）・谷口智雅（三重大）・八木明彦（愛知工業大）・岩月栄治（愛知工業大）</p>
10:40	<p>O-B08 <b>総合討論</b></p>
11:00	<p>休憩 ※ 臨時で発表が入ることもあります。</p>

9月21日 (火) 午後

下線付き講演番号：発表審査対象

開始時刻	A会場
	<b>一般講演</b>
13:00	<p><u>O-A12</u> <b>東日本台風による大規模洪水がヒゲナガカワトビケラ幼虫の越冬・非越冬世代の二次生産力に与えた影響</b> *小松 楓子・三村 亮・平林 公男 (信州大学繊維学部応用生物)</p>
13:15	<p><u>O-A13</u> <b>ダムによる餌環境変化が濾過食者シマトビケラ科の栄養状態に及ぼす影響</b> *輪地 紗良 (奈良女子大学)・土居 秀幸 (兵庫県立大学大学院情報科学研究科)・竹門 康弘 (京都大学防災学研究所)・片野 泉 (奈良女子大学大学院自然科学系)</p>
13:30	<p><u>O-A14</u> <b>ダム下流における支川流入・土砂還元が河床環境と底生動物群集に与える影響</b> *原 直子 (奈良女子大)・皆川 朋子 (熊本大学工学部)・根岸 淳二郎 (北海道大学大学院環境科学院)・土居 秀幸 (兵庫県立大学大学院情報科学研究科)・萱場 祐一 (名古屋工業大学工学部社会工学科)・片野 泉 (奈良女子大学大学院自然科学系)</p>
13:45	<p><u>O-A15</u> <b>環境DNAによる半水生哺乳類カワネズミ <i>Chimarrogale platycephalus</i> の活動時間の解明</b> *塩塚 菜生 (奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科)・中村 匡聡 (いであ(株)環境創造研究所)・土居 秀幸 (兵庫県立大学大学院情報科学研究科)・片野 泉 (奈良女子大学大学院自然科学系)</p>
14:00	<p><u>O-A16</u> <b>全昆虫類に汎用できるメタバーコーディングDNA領域の確立と隠蔽種の検出</b> *竹中 將起 (筑波大)・谷野 宏樹 (基生研)・東城 幸治 (信州大)・鈴木 智也 (京大)</p>

開始時刻	B会場
	<b>一般講演</b>
13:00	<p><u>O-B09</u> <b>夏季の諏訪湖底層におけるリン動態に関する研究</b> *市川 雄貴 (信州大学)・宮原 裕一 (信州大学)</p>
13:15	<p><u>O-B10</u> <b>矢道湖湖岸におけるメタンの生成・放出</b> *片桐 知咲・菅原 庄吾・朴 紫暎・江川 美千子 (島根大院自然)・清家 泰 (島根大 EsReC)</p>
13:30	<p><u>O-B11</u> <b>冬季の琵琶湖水における窒素循環構造の変化</b> *石橋 孝晃 (京大)・大手 信人 (京大)・尾坂 兼一 (滋賀県大)・木庭 啓介 (京大)・中村 高志 (山梨大)・西田 継 (山梨大)</p>
13:45	<p><u>O-B12</u> <b>都市の浅層地下水の水質・同位体組成の季節変化 — 東京都品川区を例に —</b> *伊東 優希 (立正大大学院)・安原 正也 (立正大)・李 盛源 (立正大)・稲村 明彦 (産総研)・中村 高志 (山梨大)</p>
14:00	<p><u>O-B13</u> <b>Mussel-distribution Estimation Using High-resolution Sonar Images with Deep Learning</b> *趙帆 (東大)・水野 勝紀 (東大)・多田 田茂 (東大)・麻山 賢人 (伊豆沼財団)・速水 裕樹 (伊豆沼財団)・藤本 泰文 (伊豆沼財団)・嶋田 哲郎 (伊豆沼財団)</p>

9月22日(水) 午前

下線付き講演番号：発表審査対象

開始時刻	A会場
	<b>一般講演</b>
9:00	O-A17 <b>Multi-Shot Pyrolyzer GC/MSを用いた琵琶湖底質中有機成分の特性解析</b> *井上和樹(京都工芸繊維大学)・早川和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・山口保彦(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・布施泰朗(京都工芸繊維大学)
9:15	O-A18 <b>冬季全循環停止がおきた琵琶湖における貧酸素水塊の広域観測</b> *石川俊之(滋賀大学)・合田幸子(京都大学)・赤塚徹志(京都大学)・後藤直成(滋賀県立大学)
9:30	O-A19 <b>琵琶湖深湖底の貧酸素化に伴う底生生物への影響</b> *石川可奈子・井上栄社・熊春萌(琵琶湖研)
9:45	O-A20 <b>穴道湖湖岸における白濁現象について</b> *菅原庄吾・片桐知咲・朴紫暎・江川美千子(島根大)・清家泰(島根大EsReC)
10:00	O-A21 <b>栄養塩添加・水位低下による底層酸素環境の変化:大型実験プールを用いた操作実験</b> *松崎慎一郎(国環研)・高津文人(国環研)・土屋健司(国環研)・篠原隆一郎(国環研)・中川恵(国環研)・福森香代子(国環研)・山口晴代(国環研)・今藤夏子(国環研)・角谷拓(国環研)
10:15	O-A22 <b>富士五湖、仁科三湖、裏磐梯三湖を対象とした深水層無機化速度と深水層厚に関する経験式的評価</b> *板井啓明(東京大学)・石水浩喜(東京大学)
10:30	休憩
10:45	O-A23 <b>田植え時期・輪作体系が水田の水生動物群集に及ぼす影響</b> *安野 翔(埼玉県・環科国セ)
11:00	O-A24 <b>琵琶湖北湖における小型・大型藻類の現存量と総一次生産</b> *風間 健宏(京大)・早川 和秀(琵琶湖研セ)・永田貴丸(琵琶湖研セ)・霜鳥 孝一(国環研)・今井章雄(国環研)
11:15	O-A25 <b>湖内および湖間の細菌のゲノム多様性の解明</b> *岡崎友輔(京大)・藤永承平(京大)・田中敦(国環研)・高津文人(国環研)・大八木英夫(南山大)・中野伸一(京大)
11:30	O-A26 <b>霞ヶ浦ではいつ水温が上昇しているのか?</b> *篠原隆一郎(国立環境研究所)・田中陽二(株式会社エコー)・神野有生(山口大学)・松重一夫(国立環境研究所)
11:45	O-A27 <b>RGB空間で捉えたアオコの発現予測—その1—コンセプトと室内実験</b> *熊谷道夫(立命館大学)・藤井康之(立命館大学)・辻英人(マスバイオラボ)

開始時刻	B会場
	<b>課題講演:河川中流域における生物生産性の機構解明と河川管理への応用(企画:平林公男)</b>
9:00	O-B14 <b>趣旨説明</b> *平林公男(信州大学)
9:10	O-B15 <b>ADCPを用いた河道地形および流況の現地計測と3次元流動シミュレーション</b> *豊田 政史(信州大)・傳田正利(土木研究所)
9:25	O-B16 <b>千曲川中流域におけるプランクトン及びバイオフィルムのバクテリア生産動態</b> *土屋 健司(国環研)・高津 文人(国環研)・桑原 ビクター伸一(創価大)・松崎 慎一郎(国環研)・傳田 正利(土木研)・平林 公男(信州大)
9:40	O-B17 <b>千曲川中流域における付着藻類の生産力と水中有機物の起源</b> *宮原裕一(信州大)・戸田任重(信州大)・平林公男(信州大)
9:55	O-B18 <b>千曲川中流域における水生昆虫類の二次生産力の推定</b> *平林公男(信州大学)
10:10	O-B19 <b>千曲川に生息する鳥類からみた捕食-被食関係</b> *笠原 里恵(信州大学)
10:25	O-B20 <b>千曲川中流域における優占的水生昆虫類の集団構造と遺伝構造、洪水の影響評価について</b> *東城 幸治(信州大)・鈴木 智也(信州大・京都市大)・谷野 宏樹(信州大・基生研)・岡本 聖矢(信州大)
10:40	O-B21 <b>河川版コンパートメントモデルの開発・検証と生産性管理基準の提案</b> *傳田正利(土木研究所・水災害研究グループ)・宮原祐一(信州大・理)・平林公男(信州大・繊維)・北野聡(長野県環境保全研究所)
10:55	O-B22 <b>まとめと今後の展望・課題</b> *平林公男(信州大学)
11:15	休憩 ※ 臨時で発表が入ることもあります。

下線付き講演番号：発表審査対象

開始時刻	A会場	
	一般講演	
13:00	O-A28	<b>イオンクロマトグラフィーを用いた有機態リンの酵素加水分解定量</b> *池谷透(地球研), 丸尾雅啓(滋賀県大)
13:15	O-A29	<b>魚類と無脊椎捕食者のカイロモンに対するミジンコの表現型応答</b> *坂本 正樹(富山県立大)・河合 哲太(富山県立大)・福島 侑樹(富山県立大)
13:30	O-A30	<b>河跡湖における水生植物の分布と生育環境</b> *片桐 浩司(東京農工大学)
13:45	O-A31	<b>炭素同位体比から解析した浅い・半閉鎖性湖沼における有機物の生成機構</b> *長尾 誠也(金沢大)・Bat-Erdene Ariunsanaa(金沢大)・岩井 久典(金沢大)・福士 圭介(金沢大)
14:00	O-A32	<b>北浦における底泥からのリン溶出速度の特徴</b> *北村 立実・大内 孝雄・木村 夏紀・古川 真莉子・湯澤 美由紀・福島 武彦(茨城県環境科セ)・増永英治(茨城大)・鮎川和泰・清家泰(鳥根大)
14:15	O-A33	<b>武蔵野台地の地下水循環に果たす都市河川の役割—東京都大田区の呑川を例に—</b> *安原正也(立正大)・伊東優希(立正大・院)・李 盛源(立正大)・稲村明彦(産総研)・中村高志(山梨大)
14:30		休憩
14:45	O-A34	<b>吉野川(奈良県)で採集した水生昆虫のメタバーコーディング解析</b> *稲井 公二(大阪府立大)・脇村 圭(大阪府立大)・渡辺 幸三(愛媛大)・加藤 幹男(大阪府立大院)
15:00	O-A35	<b>ゲノムワイドな遺伝子多型解析による地理的単為生殖種オオシロカゲロウの遺伝的集団構造</b> *関根一希(立正大学)
15:15	O-A36	<b>溪流のリター食昆虫の破砕摂食と成長における水生菌類の役割の菌種間比較</b> 松山民傑(東京大)・*加賀谷隆(東京大)・佐藤大樹(森林総研)
15:30	O-A37	<b>河川付着藻類群集の色素分析による定量化とその変動要因</b> *西村洋子(龍谷大)・吉山浩平(滋賀県大)・打越崇子(琵琶博)・大塚泰介(琵琶博)・泉野央樹(滋賀県大)・木本裕也(滋賀県大)・丸尾雅啓(滋賀県大)
15:45	O-A38	<b>河道内樹林におけるアキグミ群落の特殊性と種多様性への貢献</b> *田屋 祐樹(株式会社国土開発センター・筑波大)・傳田 正利(国立研究開発法人土木研究所・筑波大)
16:00		休憩 ※ 臨時で発表が入ることもあります。 ※ 懇親会は17:30から開始を予定しています。

開始時刻	B会場	
	課題講演: 栄養塩負荷量と漁業生産の関係: 水質総量規制は漁業生産の減少要因か? (企画: 伴 修平)	
13:00	O-B23	<b>栄養塩負荷量と漁業生産の関係: 水質総量規制は漁業生産の減少要因か?—概要と趣旨説明</b> *伴修平・刘鑫・後藤直成・尾坂兼一・丸尾雅啓(滋賀県立大)・小野寺真一・石田卓也(広島大)・齋藤光代(岡山大)・奥田昇(神戸大)
13:15	O-B24	<b>琵琶湖北湖における植物プランクトン群集動態</b> *後藤直成・伴修平(滋賀県立大学)
13:30	O-B25	<b>イオンクロマトグラフィーを用いた正リン酸のナノモル測定と琵琶湖北湖における時空間分布</b> *刘鑫(滋賀県大)・易容(贛南師範大)・丸尾 雅啓(滋賀県大)・伴修平(滋賀県大)
13:45	O-B26	<b>琵琶湖水中における極微量正リン酸・SRP濃度の定量</b> *藤山信太郎(滋賀県大)・小畑元(東大・大気海洋研)・丸尾雅啓(滋賀県大)・環境科学研究所)
14:00	O-B27	<b>共同沈殿濃縮法—イオンクロマトグラフィーを用いる天然水中メチルホスホン酸の定量</b> *山本 知季(滋賀県大・環境科学研究所)・小畑 元(東大・大気海洋研)・丸尾 雅啓(滋賀県大・環境科学研究所)
14:15	O-B28	<b>Particle tracking simulations of littoral to pelagic transport in the North Basin of Lake Biwa during the rice-planting season of 2020.</b> *WELLS John(立命館大), 伴 修平・刘鑫・後藤 直成・尾坂 兼一(滋賀県立大)
14:30		休憩
14:45	O-B29	<b>琵琶湖集水域における河川のリン濃度と土地利用に対する水文条件の影響</b> *尾坂兼一(滋賀県大)・田邊晴人(滋賀県大)・石橋孝晃(京大・情報)・伴修平(滋賀県大)
15:00	O-B30	<b>琵琶湖湖岸流域における地下水の物理化学特性と湖への物質輸送特性</b> *齋藤光代(岡山大)・小野寺真一(広島大)・友澤裕介(広島大)・王昆陽(広島大)・石田卓也(広島大)・伴修平(滋賀県立大)・奥田昇(神戸大)
15:15	O-B31	<b>琵琶湖における湖底堆積物中の無機態リン濃度とそのリン酸酸素安定同位体比分布: 地下水によるリン供給評価を目指して</b> *石田卓也(広島大)・*奥田昇(神戸大)・友澤裕介(広島大)・齋藤光代(岡山大)・小野寺真一(広島大)・刘鑫(滋賀県大)・後藤直哉(滋賀県大)・伴修平(滋賀県大)
15:30	O-B32	<b>海外の湖沼における栄養塩と漁獲量の長期変化(文献レビュー)</b> *大久保卓也(滋賀県大)・鈴木隆夫・森田尚・孝橋賢一・中嶋拓郎(滋賀県)・藤岡康弘(琵琶湖博)
15:45	O-B33	<b>琵琶湖の漁獲量減少は貧栄養化が原因か? ~統計データおよびモデル解析を用いた一考察~</b> *佐藤 祐一(滋賀県琵琶湖環境科学研究所)
16:00	O-B34	<b>矢作川流域圏懇談会海部会 吉田漁協の資料紹介</b> *井上 祥一郎(名邦テクノ・エステム・日吉)・石川 甚右衛門(吉田漁協)
16:15	O-B35	<b>総合討論</b>
16:45		休憩 ※ 臨時で発表が入ることもあります。 ※ 懇親会は17:30から開始を予定しています。